

ME 技術実力検定試験制度 25 周年記念特集にあたって

池田 研二*・加納 隆**

The 25th Anniversary of Certificate Examination for Biomedical Engineering

Kenji IKEDA,* Takashi KANO**

本学会において第2種 ME 技術実力検定試験が施行されてから、2004年で満25周年になる。学会認定試験ではあるが、これによってこの25年の間に医療機関においても、企業においても徐々に ME 技術者の役割と重要性が認知され、また臨床工学技士国家資格制定の原動力となったことは喜ばしい限りである。その後もさらに上位の資格を目指し、第1種 ME 技術実力検定試験、そして臨床 ME 専門認定士認定へと、本学会では ME 技術者の技量を高め、地位を確立する取り組みが続けられている。

ME 技術実力検定試験制度創設25周年という、四半世紀の節目を迎えたことを記念して、過去の歩みを振り返り、将来のさらなる進展に資するため、2004年12月4日、東京四谷主婦会館にて、ME 技術実力検定試験制度25周年記念講演会を開催したところ、年末の多忙な時期にも拘わらず、多数のご参加が得られ、盛会裏に講演会を終了することができた。

この講演会の内容をさらに広く学会会員各位にお伝えし、併せて本実力検定試験制度を周知・理解して戴くため、講演をされた方々を中心に、本実力検定試験に長く関係された方々、支援を戴いた方々にそれぞれのお立場からの寄稿をお願いし、本特集が企画された。ご執筆戴いた諸先生には心から感謝の意を表すとともに、本実力検定試験制度のますますの発展に寄与することができれば幸甚である。

* 東海大学開発工学部
School of high-Technology for Human Welfare, Tokai University

** 三井記念病院
Mitsui Memorial Hospital